

科目名	ダンスⅧ							年度	2025
英語科目名	Dance Ⅷ							学期	後期
学科・学年	声優・演劇科 2年次	必/選	選	時間数	40	単位数	1	種別※	実技
担当教員				教員の 実務経験		実務経験の 職種			
【科目の目的】 ウォームアップとしてストレッチと筋力トレーニングから開始する。ストレッチでは呼吸法と背骨の動きに特化したエクササイズ(JAZZダンス)を取り入れる。その後基本的なレッスンの流れに沿って取り組む。									
【科目の概要】 バレエ・ジャズダンスなどを通じて、身体表現方法を学びながら柔軟性、体幹を鍛え、美しい姿勢を目指し、より高度な技術を身につける。									
【到達目標】 基礎レベル以上の技術を身につけ、ダンスの知識やテクニックを卒業公演のダンスシーンやオーディション活動に活かしたい。また、毎回の授業で取り組むストレッチと筋力トレーニングにより柔軟性が向上し、身体に対する関心や意識が高まることを望ましい。それにより、身体を動かすこと・体力の強化の必要性や重要性を認識し、生涯的に継続してトレーニングする意欲に繋がることを目標とする。									
【授業の注意点】 多人数のグループの中で個々の差に対応するため、コミュニケーションを重視する。疑問点は教員が直接指導できる授業内での解決を目指し、積極的に質問するよう心がける。バレエのレッスンでは怪我の可能性も含むため、周りの生徒との接触には十分配慮し、スムーズな授業進行に協力すること。怪我をしている場合は予め申し出をし、担当教員の判断で授業見学を認めるが、体調不良による見学は認めない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	ストレッチを正確に行い、身体の柔軟性と可動域が著しく向上している。	ストレッチをほぼ正確に行い、身体の柔軟性と可動域が向上している。	ストレッチを概ね行い、身体の柔軟性と可動域が少しずつ向上している。	ストレッチが不十分な点がある。基本動作に改善の余地がある。	ストレッチが出来ない、または形だけを行っている。				
到達目標 B	身体の軸が安定しており、バランス感覚が極めて高い。	身体の軸は安定しており、バランス感覚も高い。	身体の軸は比較的安定している。	身体の軸が安定しない場合がある。	身体の軸が安定せず、バランス感覚に欠ける。				
到達目標 C	音楽のリズムやニュアンスを的確に捉え、オリジナリティ溢れる表現をしている。	音楽のリズムやニュアンスを捉え、表現力も豊か。	音楽のリズムを捉え、身体で表現しようとしている。	音楽のリズムを捉えることに苦労している。	音楽のリズムを全く捉えられていない。				
到達目標 D	常に積極的にレッスンに参加し、クラスメイトを指導するなど、リーダーシップを発揮している。	積極的にレッスンに参加し、クラスメイトと協力して課題に取り組んでいる。	レッスンに積極的に参加し、クラスメイトとの協調性もみられる。	レッスンへの参加は積極的だが、協調性が不足している場合がある。	レッスンに消極的で、クラスメイトとのコミュニケーションが不足している。				

到達目標 E	遅刻・欠席をしない	遅刻はあるが欠席は少ない	遅刻・欠席が少ない	遅刻・欠席が多い	遅刻・欠席が非常に多い
-----------	-----------	--------------	-----------	----------	-------------

【教科書】
レジュメ・資料は必要に応じて配布。パソコン・タブレット・スマートフォンなどのモバイルツール、参考資料等は授業内で指示する。

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】
小テストおよび期末テストにより採点。授業への積極性と参加態度を評価する。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		ダンスⅧ			年度	2025
英語表記		Dance Ⅷ			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価
1	ストレッチ 作ダンス①	①グループを作り、 創作ダンスの方向性を 話し合う。	ストレッチ	柔軟性と体力の向上		
			グループ分け	創作ダンスについてのグループ分け		
			テーマ決め	グループワークでテーマを決定		
5	ストレッチ 作ダンス②	②曲を決めて、振り を作る。	ストレッチ	柔軟性の維持、怪我の予防		
			曲の選定	グループワークでの曲選定		
			振り付けの構想	オリジナルの振り付けを創作		
3	ストレッチ 作ダンス③	③振り付けを完成さ せる。	ストレッチ	身体を温め、柔軟性を高める		
			振り付けの完成	創作ダンス作品を完成		
			フォーメーションの 決定	振り付けとフォーメーションの完成		
4	ストレッチ り付け①	①曲を変えて新しい 振りを付ける。以上 同上。	ストレッチ	柔軟性と体力の向上		
			新曲の導入	新曲を選び、雰囲気やリズムを把握		
			新しい振り付け	新しい振り付けの作成		
5	ストレッチ り付け②	②振りのブラッシュ アップ、精度を上げ る。	ストレッチ	柔軟性の維持、怪我の予防		
			振り付けの復習	振り付けの完成度向上		
			振り付けのブラッ シュアップ	振り付けの深い表現を完成		
6	ストレッチ り付け③	③曲のイメージなど に合わせ表情やニュ アンスをつけて踊 る。	ストレッチ	身体を温め、柔軟性を高める		
			振り付けの復習	振り付けの完成度向上		
			振り付け練習	曲に合わせて表情やニュアンスをつける		
7	ストレッチ 作ダンス①	①グループで練習、 完成度を高める	ストレッチ	柔軟性と体力の向上		
			グループでの練習	グループでの練習の実施		
			創作ダンスの修正	創作ダンスを修正し完成度を向上		
8	ストレッチ 作ダンス②	②細かい修正や調整 をする	ストレッチ	柔軟性の維持、怪我の予防		
			振り付けの細部調整	振り付けの完成度向上		
			ダンスの修正や調整	創作ダンスの修正や調整の実施		
9	ストレッチ 作ダンス③	③最終練習	ストレッチ	身体を温め、柔軟性を高める		
			全体練習	全体練習の実施		
			ダンスの確認	発表に向けての確認		
			リハーサル	リハーサルの実施		

10	発表会	成果発表		本番発表	本番のパフォーマンスの実施		
				振り返り	本番の振り返り		
11							
12							
13							
14							
15							
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他							
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった							
備考 等							